

寒波が続いた松本平にも、柔らかな春の息吹の感じられる今日の佳き日、同窓会・PTA よりご来賓の皆様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、令和4年度卒業証書授与式を挙行できますことを、大変喜ばしく思います。

ただいま卒業証書を授与いたしました271名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

3年以上に及ぶ感染症との闘いは、少しずつではありますが共存へと移行する道筋が見え始めておりますが、令和2年の、あのだれもが経験したことのない世界の恐慌から始まった皆さんの高校生活は、何が正解かを、もがき、模索し、懸命に納得解を探りながら精いっぱい学校生活に励んだ年月となりました。本日このように立派に成長した姿の皆さんを前に、皆さんの明るい未来を祈り、応援する気持ちでいっぱいです。保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。高校卒業という大きな節目を迎えた今日まで、たくさんの愛情を持ってご支援くださいましたことに心より感謝いたし、お祝い申し上げます。

蟻ヶ崎高校での3年間の学びは、過去を継承する大切さや責務を感じると同時に、急速に変化するICT社会において、変化する社会と新しい学びを受け入れていかなければいけない、変革の入り口を体感する年月となりました。ピースをはめ込んでいくジグソーパズルの世界から、自由な発想で創造していくレゴブロックの世界へと、社会と学びは大きく変化しています。そんなこれからの時代を生きていく助けになるのは「自ら進んで学ぶ姿勢」と「学び続ける姿勢」です。今年度は、だれも経験したことのない文化祭や合唱コンクールと、見たことのない世界を皆さんは創り上げてくれました。選択に迫られた場面も数多くありました。しかし、人生の中で訪れるあらゆる選択は、それで人生が決まってしまうということはなく、あくまで通過点にすぎません。その通過点をいかに迎えいかに越えるか。必要なことは学び続けようとする心持ちと変化を求めていく勇気なのです。インド独立の父、マハトマ・ガンジーの名言に「明日死ぬように生き、永遠に生きるかのように学びなさい」があります。学び続ける大切さは、私たちが直面している自然災害、紛争など、あらゆる脅威を前に、あなたはどうか生きののかを問いかける「難題」にも立ち向かえる力です。世の中は教科書にはなかったものが溢れています。そして一生かけても答えは出ないであろう、心躍るような学びも溢れています。皆さんの想像力をめいっぱい発揮し、興味をもって学び、その先に皆さんにしか創れない色鮮やかなレゴブロックの世界を構築してほしいと、期待しています。

これから漕いでゆく皆さんの船の進路を決めるのは潮の流れでも風でもなく、帆の向きです。向かい風にたち向かう時も、風を待つときもあるでしょう。その通過点を迎えるとき、学び続ける自分の姿に自信を持って、堂々と進んで欲しいと心から願います。そして、自分の力が及ばぬ時は他の力を借りながら、蟻ヶ崎高校で得たさまざまな経験と、培った情熱を忘れずに、前へ前へと、進んでください。卒業生の皆さんの前途に、必ずや輝かしい未来が訪れることを願い、本日の式辞といたします。

令和5年3月3日

長野県松本蟻ヶ崎高等学校長 鳥谷越 浩子